



Session Manager の設定

この章では、Cisco NX-OS デバイスで Session Manager を設定する方法について説明します。

この章は、次の内容で構成されています。

- [セッション マネージャについて, on page 1](#)
- [セッション マネージャの前提条件 \(2 ページ\)](#)
- [Session Manager の注意事項および制約事項 \(2 ページ\)](#)
- [Session Manager の設定 \(2 ページ\)](#)
- [Session Manager 設定の確認, on page 5](#)
- [Session Manager のコンフィギュレーション例, on page 6](#)
- [その他の参考資料 \(6 ページ\)](#)

セッション マネージャについて

Session Manager を使用すると、設定変更をバッチ モードで実行できます。Session Manager は次のフェーズで機能します。

- **コンフィギュレーション セッション**：Session Manager モードで実行するコマンドのリストを作成します。
- **検証**：設定の基本的なセマンティック チェックを行います。Cisco NX-OS は、設定の一部でセマンティクス検査が失敗した場合にエラーを返します。
- **検証**：既存のハードウェア設定、ソフトウェア設定、およびリソースに基づいて、設定全体を確認します。Cisco NX-OS は、設定がこの確認フェーズで合格しなかった場合にエラーを返します。
- **コミット**：Cisco NX-OS はコンフィギュレーション全体を確認して、デバイスに対する変更を実行します。エラーが発生すると、Cisco NX-OS は元の設定に戻ります。
- **打ち切り**：設定変更を実行しないで廃棄します。

任意で、変更をコミットしないでコンフィギュレーションセッションを終了できます。また、コンフィギュレーションセッションを保存することもできます。

高可用性

Session Manager セッションは、スーパーバイザのスイッチオーバー後も引き続き使用できます。セッションはソフトウェア リロード後までは維持されません。

セッション マネージャの前提条件

使用する予定の Session Manager コマンドをサポートする権限があることを確認してください。

Session Manager の注意事項および制約事項

Session Manager には、次の注意事項および制限事項があります。

- 1 つのセッションを使用して実行できるサービス アクセス ポイント (SAP) は 1 つだけです。
- 設定セッションは、リロード後に保持されません。
- Session Manager は、アクセス コントロール リスト (ACL) および Quality of Service (QoS) 機能だけをサポートします。
- 作成できるコンフィギュレーション セッションの最大数は 32 です。
- すべてのセッションで設定できるコマンドの最大数は 20,000 です。
- 複数のコンフィギュレーションセッションまたはコンフィギュレーションターミナルモードで、コンフィギュレーション コマンドを同時に実行することはできません。パラレルコンフィギュレーション (例えば 1 つのコンフィギュレーションセッションと 1 つのコンフィギュレーションターミナル) は、コンフィギュレーションセッションで確認または検証が失敗する原因になります。
- コンフィギュレーションセッションで、あるインターフェイスを設定中にそのインターフェイスをリロードすると、そのときにインターフェイスがデバイス上になくても、セッション マネージャがコマンドを受け取ることになります。
- 次の Cisco NX-OS リリース以降、ネットワーク管理者ユーザーは既存のセッションを構成または削除できます。
 - 10.5(1)F

Session Manager の設定



(注) Cisco NX-OS コマンドは Cisco IOS コマンドと異なる場合がありますので注意してください。

セッションの作成

作成できるコンフィギュレーションセッションの最大数は 32 です。

SUMMARY STEPS

1. **configure session** *name*
2. (Optional) **show configuration session** [*name*]
3. (Optional) **save** *location*

DETAILED STEPS

Procedure		
	Command or Action	Purpose
ステップ 1	configure session <i>name</i> Example: <pre>switch# configure session myACLs switch(config-s)#</pre>	コンフィギュレーションセッションを作成し、セッション コンフィギュレーション モードを開始します。名前は任意の英数字ストリングです。 セッションの内容を表示します。
ステップ 2	(Optional) show configuration session [<i>name</i>] Example: <pre>switch(config-s)# show configuration session myACLs</pre>	セッションの内容を表示します。
ステップ 3	(Optional) save <i>location</i> Example: <pre>switch(config-s)# save bootflash:sessions/myACLs</pre>	セッションをファイルに保存します。保管場所には bootflash:、slot0:、または volatile: を指定できます。

セッションでの ACL の設定

コンフィギュレーションセッションで ACL を設定できます。

SUMMARY STEPS

1. **configure session** *name*
2. **ip access-list** *name*
3. (Optional) **permit** *protocol source destination*
4. **interface** *interface-type number*
5. **ip access-group** *name* {**in** | **out**}
6. (Optional) **show configuration session** [*name*]

DETAILED STEPS

Procedure

	Command or Action	Purpose
ステップ 1	configure session name Example: <pre>switch# configure session myac1s switch(config-s)#</pre>	コンフィギュレーションセッションを作成し、セッション コンフィギュレーション モードを開始します。名前は任意の英数字ストリングです。
ステップ 2	ip access-list name Example: <pre>switch(config-s)# ip access-list ac11 switch(config-s-acl)#</pre>	ACL を作成し、その ACL のコンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 3	(Optional) permit protocol source destination Example: <pre>switch(config-s-acl)# permit tcp any any</pre>	ACL に許可文を追加します。
ステップ 4	interface interface-type number Example: <pre>switch(config-s-acl)# interface ethernet 2/1 switch(config-s-if)#</pre>	インターフェイス コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 5	ip access-group name {in out} Example: <pre>switch(config-s-if)# ip access-group ac11 in</pre>	アクセスグループを適用するトラフィックの方向を指定します。
ステップ 6	(Optional) show configuration session [name] Example: <pre>switch(config-s-if)# show configuration session myac1s</pre>	セッションの内容を表示します。

セッションの確認

セッション モードで次のコマンドを使用して、セッションを確認します。

コマンド	目的
verify [verbose] 例: <pre>switch(config-s)# verify</pre>	既存のハードウェアおよびソフトウェアのコンフィギュレーションおよびリソースに基づいて、コンフィギュレーション全体を確認します。Cisco NX-OS は、設定がこの確認で合格しなかった場合にエラーを返します。

セッションのコミット

セッション モードで次のコマンドを使用して、セッションをコミットします。

コマンド	目的
commit [verbose] 例: switch(config-s)# commit	現在のセッションで行われたコンフィギュレーションの変更を検証し、有効な変更をデバイスに適用します。検証に失敗した場合、Cisco NX-OS は元の設定に戻ります。

セッションの保存

セッション モードで次のコマンドを使用して、セッションを保存します。

コマンド	目的
save <i>location</i> 例: switch(config-s)# save bootflash:sessions/myACLs	(任意) セッションをファイルに保存します。保管場所には bootflash:、slot0:、または volatile: を指定できます。

セッションの廃棄

セッション モードで次のコマンドを使用して、セッションを廃棄します。

コマンド	目的
abort 例: switch(config-s)# abort switch#	コマンドを適用しないで、コンフィギュレーションセッションを廃棄します。

Session Manager 設定の確認

Session Manager のコンフィギュレーション情報を表示するには、次の作業のいずれかを行います。

コマンド	目的
show configuration session [<i>name</i>]	コンフィギュレーション ファイルの内容を表示します。
show configuration session status [<i>name</i>]	コンフィギュレーション セッションのステータスを表示します。

コマンド	目的
show configuration session summary	すべてのコンフィギュレーションセッションのサマリーを表示します。

Session Manager のコンフィギュレーション例

Session Manager を使用して ACL コンフィギュレーションを作成し、コミットする例を示します。

```
switch# configure session ACL_tcp_in
Config Session started, Session ID is 1
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
switch(config-s)# ip access-list ACL1
switch(config-s-acl)# permit tcp any any
switch(config)# interface e 7/1
switch(config-if)# ip access-group ACL1 in
switch(config-if)# exit
switch(config)# exit
switch# config session ACL_tcp_in
Config Session started, Session ID is 1
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
switch(config-s)# verify
Verification Successful
switch(config-s)# commit
Commit Successful
switch#
```

その他の参考資料

関連資料

関連項目	マニュアル タイトル
コンフィギュレーション ファイル	『Cisco Nexus 9000 Series NX-OS Fundamentals Configuration Guide』

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。